

10 試 験 研 究

林業試験場試験研究課題

試 験 研 究 項 目	研究期間	研 究 内 容	担当研究室
1 県産材の需要拡大に関する研究			
(1) 県産材の住宅内装用床材としての性能評価とデータベース化	H22～24	住宅内装用床材に関する各種性能の評価を行い、県産住宅内装床材の性能に関するデータベースを構築する。	木材利用
(2) 低コスト・高品質な高温乾燥材生産技術の確立	H22～24	仕上がりの木材含水率を均質化させる乾燥前処理や乾燥スケジュールを検討し、低コストで高品質な乾燥材生産技術を確立する。	木材利用
(3) 県産材と伝統技術を有効に活用した住宅用耐力壁の開発	H23～25	県産材の需要拡大、木材利用の推進のため、県産スギを活用した住宅耐震リフォーム等に適した耐力壁を開発する。	木材利用
(4) 県産ヒノキ材の横架材としての利用技術の開発	H23～25	ヒノキB、C材の強度性能を把握し、住宅用横架材としての利用技術の開発を行う。	木材利用
(5) スギ・ヒノキを活用したハイブリッドLVLの生産・利用技術の確立	H23-25	住宅用土台、梁桁材としての活用を目指して、県産スギ・ヒノキによるハイブリッドLVLの生産・利用技術を確立する。	木材利用
(6) 県産スギ材の材質及び強度に優れた品種の選抜	H23-27	森林所有者の再造林意欲を高めるため、成長・材質・強度に優れたスギ品種を選抜する。	木材利用
2 健全で豊かな森林づくりに関する研究			
(1) ナラ類集団枯損被害の初期防除と拡大防止手法の開発	H23～25	ナラ類集団枯損の最先端地被害に対してその拡大防止手法を検討するとともにナラ枯れ初期被害防除手法を確立する。	森林管理
(2) 松くい虫被害地におけるクロマツ苗木の活着率向上試験	H23～25	松くい虫被害が生じたクロマツ林の防風機能を早期に回復させるため、高価で貴重な松くい虫抵抗性苗を高確率で活着させるための技術を確立する。	森林管理

<p>(3) 地下流水音探査法を用いた効果的山地災害対策のための技術開発</p>	<p>H24～26</p>	<p>地下流水音探査法の実証試験を行い、地下流水音探査法による危険箇所判定技術を実用化する。</p>	<p>森林管理</p>
<p>3 活力ある林業・山村づくりに資する研究</p> <p>(1) 付加価値の高い緑化用苗木の効率的生産技術の開発</p> <p>(2) スギ人工林の品質向上に関する施業技術の確立</p> <p>(3) 高性能林業機械の稼働率を向上させる現地モデル試験</p> <p>(4) ハイブリッド無花粉スギの創出</p>	<p>H22～24</p> <p>H22～26</p> <p>H23～25</p> <p>H24～33</p>	<p>クロガネモチなど「実のなる木」の雌雄判別法、ドングリ類のうち発芽に長期間を要するシラカシなどの発芽促進技術を開発する。</p> <p>心材の赤味部分を増加させる「心材促進化」及び、「材質安定化」について実用的な施業技術を確立する。</p> <p>高性能林業機械を使った効率的な伐採搬出作業について、現地で高性能林業機械を使った実証試験を行う。</p> <p>既存の材質強度、耐虫性および耐雪性品種などに無花粉形質を取り込んだ付加価値の高いスギ造林品種を創出する。</p>	<p>森林管理</p> <p>森林管理</p> <p>森林管理</p> <p>森林管理</p>